

剪定枝チップを用いた雑草防除について

富澤まり

雑草防除の省力化を目的に、雑草が繁茂する箇所へ剪定枝チップを用いたマルチングを行い、一定の抑草効果があったので、報告する。

使用した剪定枝チップは、当園で伐採等を行った際に出る不要枝等をチップパーで裁断し保管していたものである。

これまでも、園内（香りの小径の東屋付近など）で活用し、効果がみられた。今回は、ベゴニア温室東側の東屋周辺で実施した。

場所 ベゴニア温室東側

方法 繁茂した雑草をなるべく抜根するよう手抜き除草し、更地にした。その後、整地し、剪定枝チップを5～10cm程度の厚さで敷き均した。



写真1 施工前 (5月10日)



写真2 施工中 (除草 5月31日)



写真3 施工中 (剪定枝チップの敷き均し 同)



写真4 施工中 (剪定枝チップのマルチング 同)



写真5 施行後6ヶ月経過 (抑草効果確認 12月12日)

施行後6ヶ月を経過しても、ほぼ雑草が見えない程度に抑草効果を確認することができた。

これまで雑草防除の方法について、防草シートの利用や除草剤の散布など各種検討を行ったが、剪定枝チップ活用での防除は、不要な剪定枝を活用するため経済的であるうえ、化学合成物質に頼らない環境にやさしい方法であり、有効な手段であると思われる。

今後、同様の未植栽エリアについてもこの手法を取り入れ、環境にやさしい雑草防除につとめたい。